

海上の森に関する 野鳥誌掲載記事

<愛知万博会場 海上の森の長期的保全策を要望>
(No.677 2004年7月号 p.27)

<愛知万博市民によるフォローアップ会議開催される>
(No.642 2001年5月号 p.37)

<愛知万博検討会議解散 ～4つの後継組織へ再編>
(No.640 2001年3月号 p.26)

● <活動>

愛知万博会場 海上の森の長期的保全策を要望 (No.677 2004年7月号 p.27)

3月30日、当会と(財)日本自然保護協会、(財)世界自然保護基金ジャパンは愛知県知事に対し、「海上の森の長期的保全策と県道見直しに関する要望書」を提出しました。2005年に万博会場の一部となる瀬戸市海上(かいしょ)の森について愛知県は、当会等の提案を受けて540haの里山を一体的に保全する条例を制定する方針を固めていますが、要望書は県民にオープンな形でこの条例を検討するように、また海上会場の県道約200mはムササビやシデコブシ等の希少種と共存できる規模に縮小するように求めたものです。また2005年日本国際博覧会協会から要請のあった万博の催事への参加については、当面は検討は行わず県の対応を見守る旨、同協会に回答しました。

海上の森は多くの希少種が生息しており、本会は愛知県支部と共にその保全を求めています。

(自然保護室)

● <活動>

愛知万博市民によるフォローアップ会議開催される (No.642 2001年5月号 p.37)

3月22日、名古屋市内にて「愛知万博検討会議フォローアップ会議」が開催され、本会愛知県支部から高垣英明氏、自然保護センターから副所長の古南幸弘が出席しました。この会議は、貴重な里山環境である海上の森と愛知青少年公園を会場とした愛知万博の会場計画について検討していた、「愛知万博検討会議」(本会等が参加)が昨年12月に解散した際、設けられた4つの後継機関のひとつ。愛知万博が、検討会議により提案された万博像とその精神に従って進行しているかどうかを、市民の立場からチェックすることを目的としています。

この日は議長に宇佐見大司氏(愛知万博の環境アセスメントに意見する市民の会)、副議長に萩原喜之氏(中部リサイクル運動市民の会)を選出、また12月以降の万博の準備状況について、事業主体である2005年日本国際博覧会協会(以下博覧会協会)からの説明があり賛意応答が行われました。折しも前週、博覧会協会最高顧問に、過去、大阪万博や沖縄海洋博の経験のある塚屋太一前経済企画庁長官が就任、見直し計画を再度修正するかのような発言がなされていたため、その点に質問が集中。検討会議の提案を尊重していくことには変わりはないという答弁がありました。

本会としては「海上の森の恒久的な保全」という大きな目標が完遂されるよう、後継の他の会議も通し、愛知万博について今後も監視を続けていきます。

(自然保護センター)

● <活動>

愛知万博検討会議解散 4つの後継組織へ再編 (No.640 2001年3月号 p.26)

■検討会議の成果

2000年5月から始まった「愛知万博検討会議(海上地区を中心として)」(以下検討会と略)が、12月21日の第13回目で解散となりました。検討会では、海上の森の開発面積を当初の約4%まで縮小させるなど、大きな成果を上げることができました(本誌2000年9・10月号44頁参照)。自然保護団体や地元住民、研究者、行政、万博反対派と推進派が一つのテーブルで議論を重ね、合意を得たことも成果でした。

■後継の4組織

しかし、まだ課題は残っています。例えば、海上の森の開発面積の削減によって、施設の多くが近くの愛知青少年公園に移るため、同公園の従来利用の制限や交通アクセスの問題が出ています(本誌2000年11月号42頁参照)。また、海上の森と青少年公園に限定せず、愛知県内や近県の各所で広域的な万博の展開を望む声がありますし、開発を免れた海上の森を長期的にどう保全していくかも課題です。そのため、最後の検討会では、次の後継組織の設置が決まりました。本会も参加していく予定です。

(1) 海上地区の会場計画のモニタリング(監視)

海上の森の万博会場の設計や工事などを検討し、自然への影響を減らすように監視する会議。博覧会協会が設置。

(2) 検討会議提案(旧委員長試案)のフォローアップ

検討会では、海上の森の他に青少年公園の会場計画や交通アクセス、万博の広域展開なども検討され、「検討会議提案」としてまとめた。この検討会議提案が尊重されるようにチェックする会議。検討会委員有志で自主的に設置し構成。本会も委員として加わる予定。博覧会協会は情報提供や庶務などを支援。

(3) 海上地区の長期的な保全・活用

愛知県が「里山学びと交流の森検討会(仮称)」を設置予定。2000年12月22日には、第1回の準備会が開催され、本会愛知県支部が委員として、本会はオブザーバーとして参加。

(4) 市民万博としての広域展開万博の推進

海上の森と青少年公園以外での万博関連事業の推進と連携のための会議。検討会委員有志が呼びかけ自主的に設置し、博覧会協会は支援する。

(自然保護センター)